

# 2020年度 chemSHERPA普及度調査結果

2019年度と2020年度の結果を併記しています。  
傾向はほぼ同じであるため、2019年度分析コメント  
をそのまま残しています。  
赤字は2020年度の分析コメントです。

2021年1月18日  
JAMP普及委員会

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

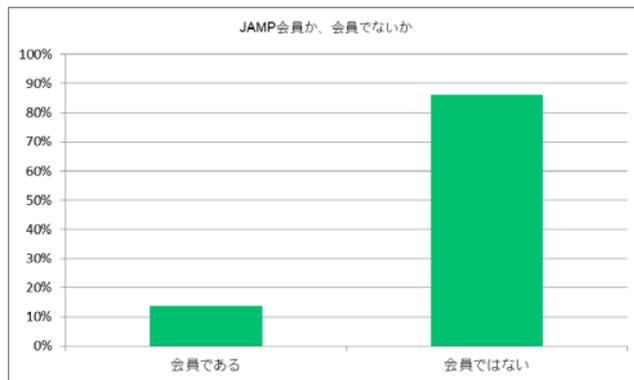
## 調査対象企業の状況

アンケート実施期間：2020年10月27日～11月13日 アンケート送付数：44,446、回答者数：2,765人、うちJAMP会員381人

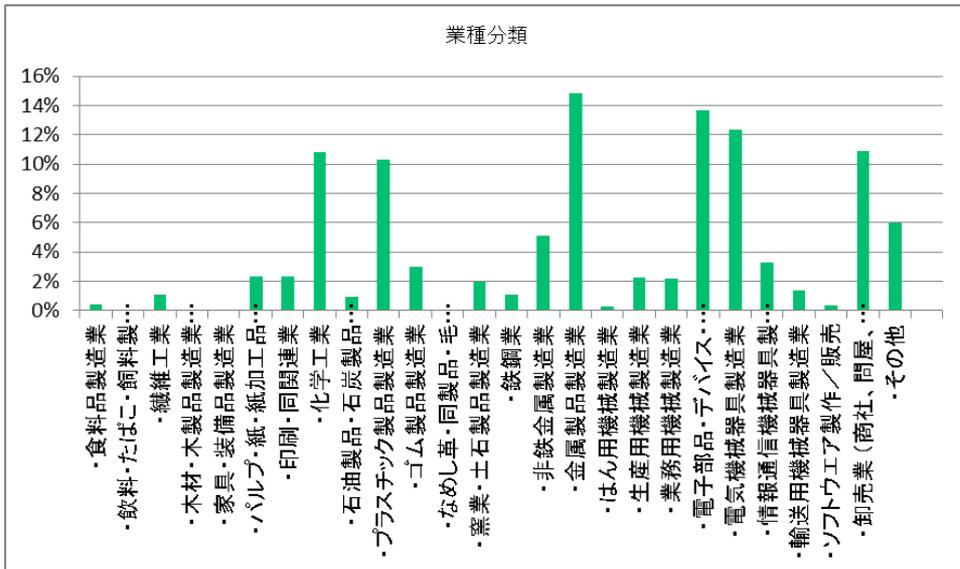
chemSHERPA-AI/CIダウンロード者（2020.1-2020.9）  
JAMP会員、JAMP委員

調査目的：chemSHERPAの普及度の定点観測、傾向分析  
普及を阻害する要因や普及に向けての意見収集

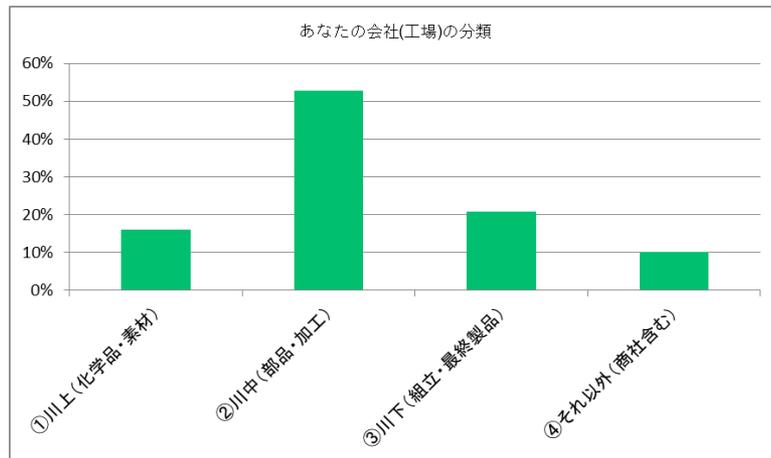
## JAMP会員／非会員



## 企業の業種分類



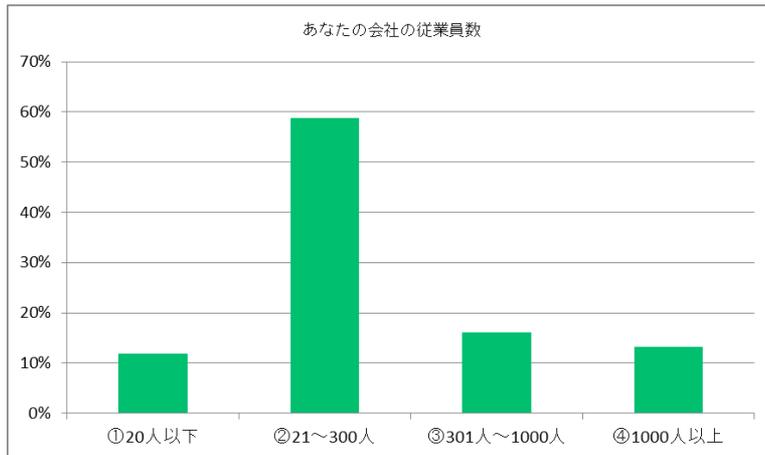
## サプライチェーンの川上／川中／川下／その他



# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

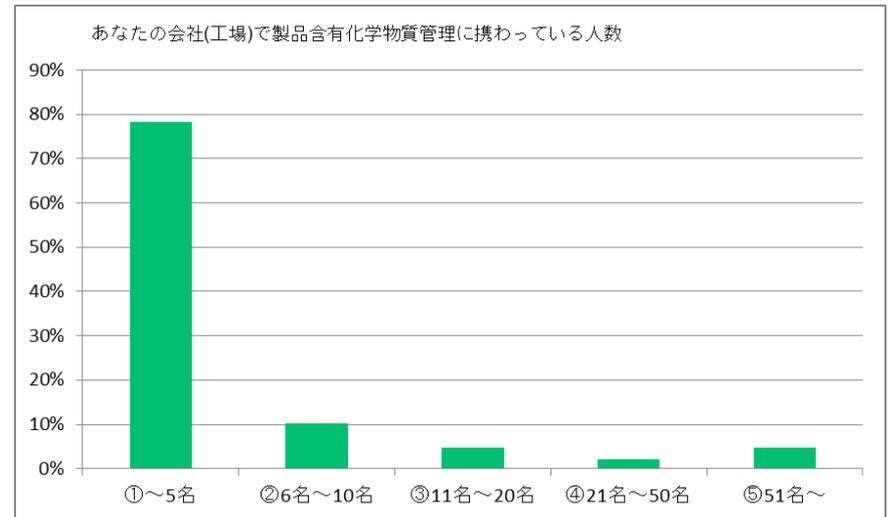
## 調査対象企業の状況

### 企業の従業員数（～20、～300、～1000、以上）



chemSHERPA利用者は20～300人の  
中小企業が多い。

### 業務への従事者（～5、～10、～20、～50、以上）

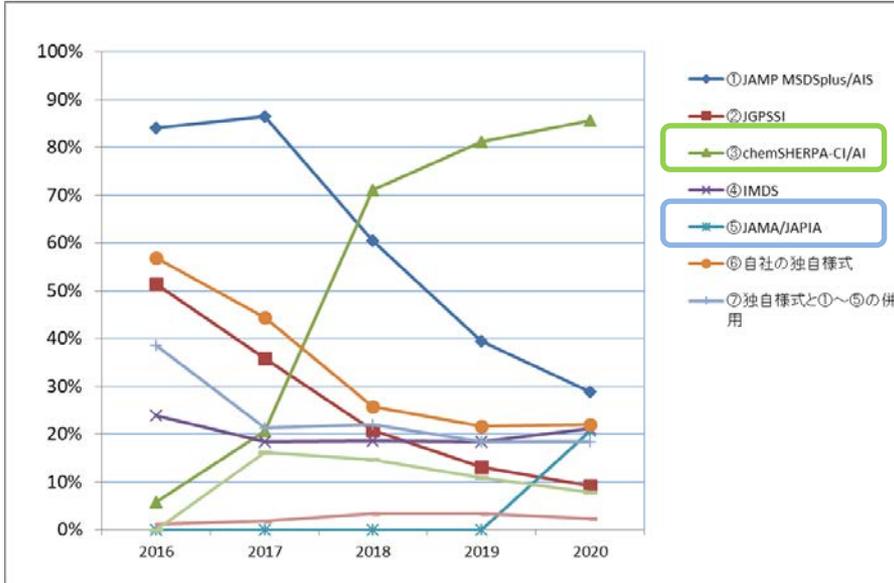


含有化学物質管理の従事者は5名以内

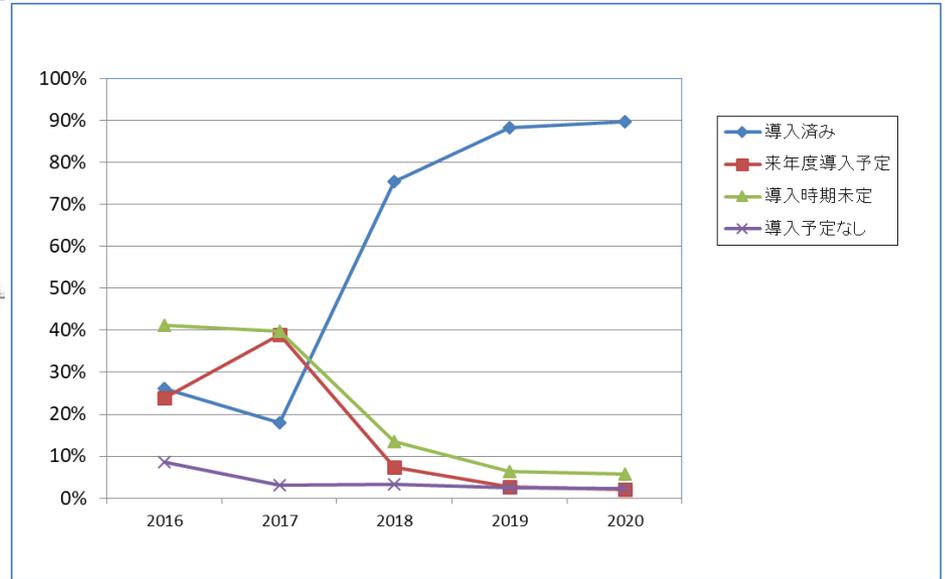
# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 様式の利用状況（2016～経年変化）

利用している様式は何ですか（複数回答可）



chemSHERPAの導入予定はいつ頃ですか

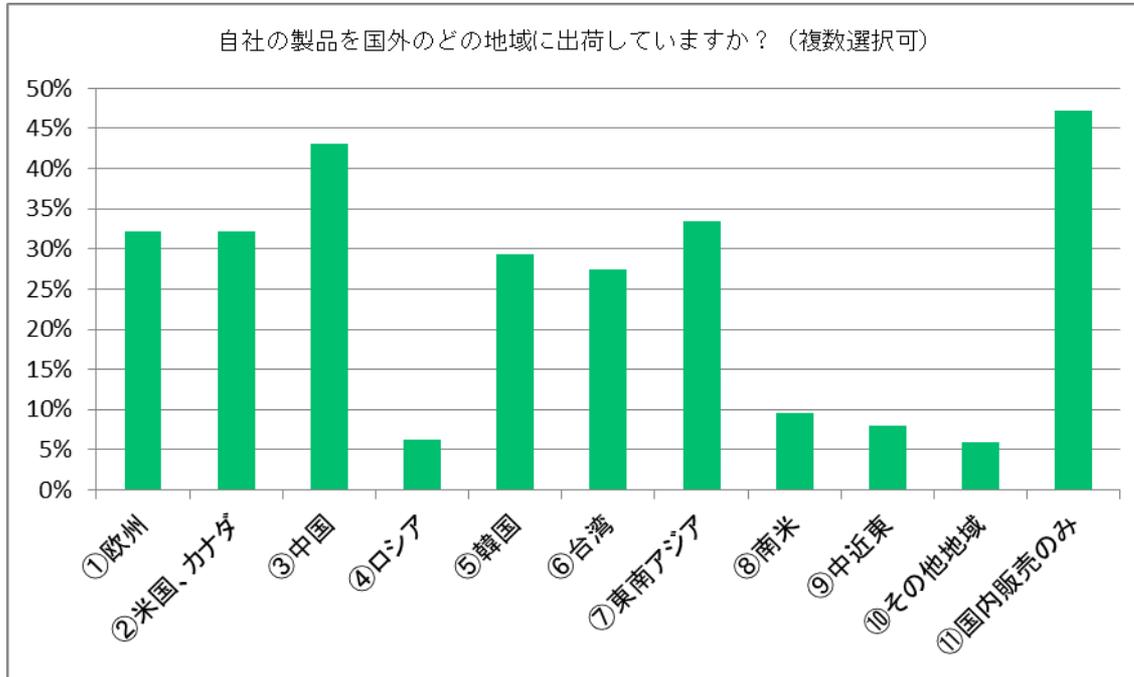


**AIS、JGPは減少、chemSHERPA増加傾向継続**  
**独自様式、併用は減少するも停滞**  
**独自様式単独と、chemSHERPA併用で**  
**chemSHERPA利用者の30～50%ぐらい存在**  
**JAMA/JAPIAシートは今回選択に追加**

chemSHERPA導入過程終了→ほぼ導入済み

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 製品の出荷国、地域



①欧州	892
②米国、カナダ	892
③中国	1192
④ロシア	175
⑤韓国	810
⑥台湾	757
⑦東南アジア	925
⑧南米	264
⑨中近東	221
⑩その他地域	165
⑪国内販売のみ	1307
回答数	2765

この調査の目的は、ECHA SCIPデータベース登録のニーズ調査。  
欧州出荷の企業は、回答者のうち、**32%程度あり**。（複数回答可）  
組合せ分析は必要であるが、中小企業でも欧州出荷企業はある程度存在する。

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## SCIPデータベースへの対応

欧州廃棄物枠組み指令によるSCIPデータベースへの登録が2021年1月から義務化されます。  
どのような対応をする予定ですか？ [必須回答項目]

Answer Choices	Responses	
①義務開始に間に合うよう登録準備を進めている	12.91%	357
②2021年1月より遅れるが対応	6.40%	177
③EU出荷品があるが、対応未定	8.90%	246
④直接EU出荷品は無いが顧客への情報伝達を行う	38.70%	1070
⑤SVHC含有製品無く、対象外	20.61%	570
⑥その他 (具体的に)	12.48%	345

川下企業の回答

川中企業の回答

### ①～③川下企業の回答

「遅れるが対応」までが、川下企業の回答（780）のうち、7割（534）を占める。  
（JAMPの活動が寄与していると言える？）

### ④川中企業の回答

情報伝達に前向きに情報伝達する、との回答。

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

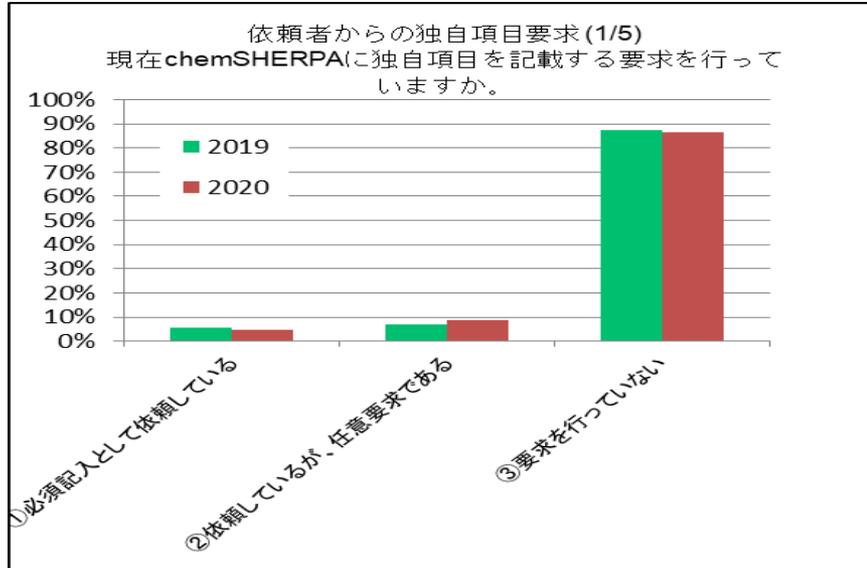
## SCIPデータベースのその他のコメント

	主な意見集約 (回答数 345)	回答数
1	顧客要求があれば対応する	133
2	自社の責務が不明。対応できない	67
3	自社の責務が不明。検討中または未定	50
4	EUへの出荷品が無い	46
5	顧客要求が不明。要求待ち。	36
6	何らかの対応をする	9
外	未定、検討中	4

川中企業の補足コメントが多く、顧客要求が判らないが、対応するという意見。良く判らないし、対応できない、というコメントも続く。

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 1) chemSHERPAでの独自項目の要求について



### 【依頼者へ伺います】

chemSHERPAへの自社の独自項目の要求がありますか

① 必須記入として依頼している	121
② 依頼しているが、任意要求である	179
③ 要求を行っていない	2028

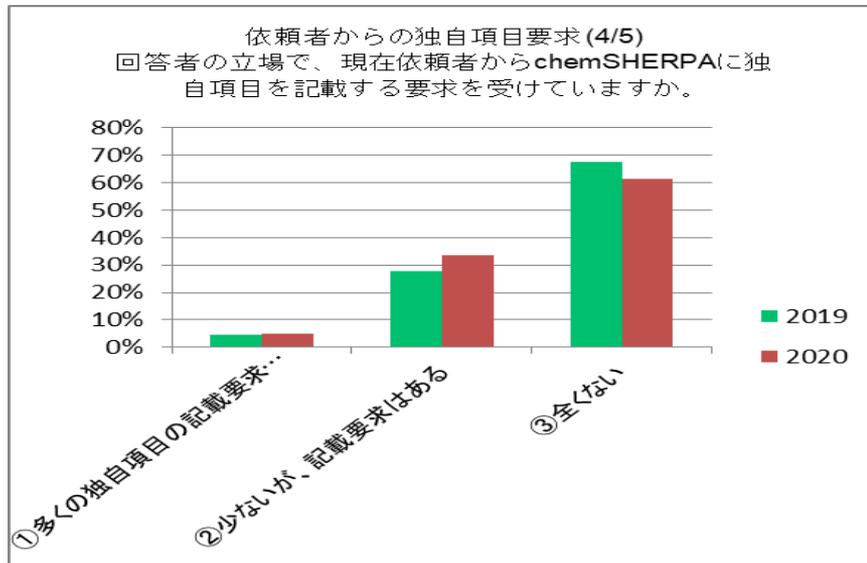
13%程度と割合は少ないが一定数の要求あり。



一部の依頼がサプライチェーンに影響

### 【回答者にうかがいます】

chemSHERPAでの依頼者の独自項目記載の要求はありますか

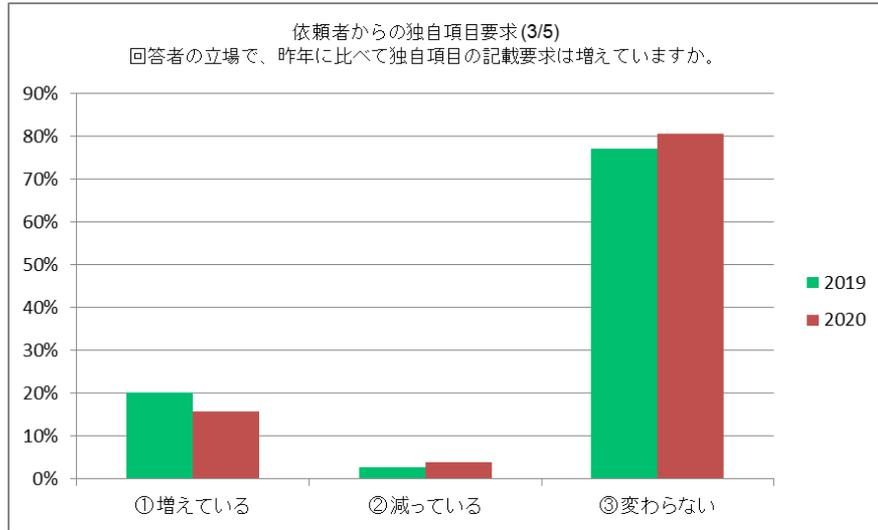


① 多くの独自項目の記載要求がある (10社以上)	124
② 少ないが、記載要求はある	702
③ 全くない	1402
	2228

回答者としては、30%程度も要求を受けている。  
独自項目要求は多いと見るべき。

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 1) chemSHERPAでの独自項目の要求について



【回答者へ伺います】

昨年に比べて独自項目記載の要求は増えていますか

2019年度と比較すると、「増えている」が若干減って、「変わらない」が増えている。  
独自項目要求については「変わらない」という状況。

	主な意見集約 (回答数 194→163)	2019	2020
1	顧客要求を川上に要求するため、廃止できない	36	30
2	自社型番などを川上に記載要求 (廃止予定無しだが検討可能)	20	12
3	任意報告を義務化し、全成分調査を実施 (廃止予定無し)	16	11
4	PVC、赤リン、紛争鉱物などの個別要求がある	9	5
5	閾値以下でも記載を要求	4	3
外	質問をSCIP対応と取り違えている	-	11

【依頼者へ伺います】

独自項目要求の具体的な内容  
と廃止予定についてお聞かせください

顧客要求はやむを得ないが、自社型番などは改善の余地あり。  
全成分調査をどうするか検討が必要。

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 1) chemSHERPAでの独自項目の要求について

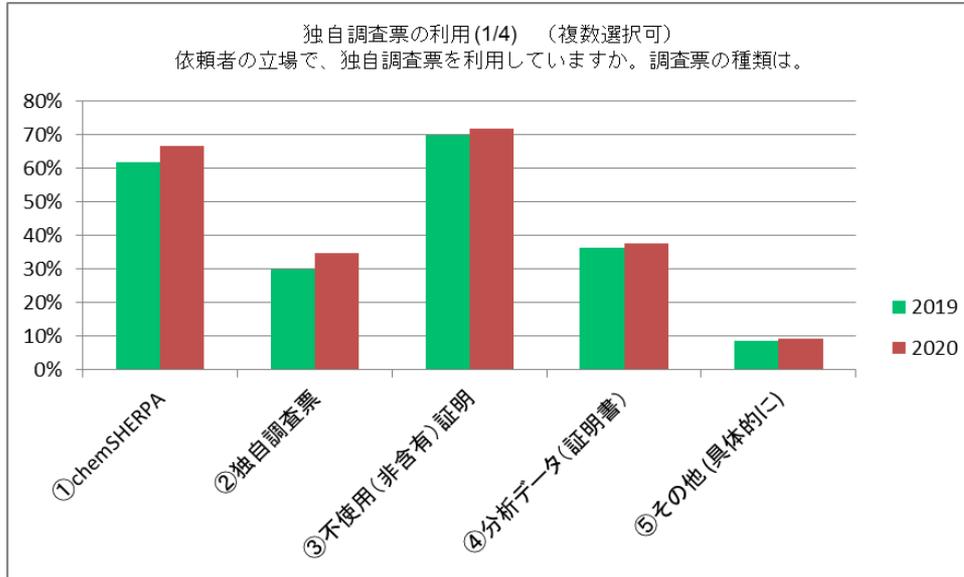
	主な意見集約 (回答数 434→)	2019	2020
1	<b>ルールの厳密化を求める</b>	53	↓41
2	止むを得なく実施している、容認すべき、独自調査票が増えるだけ、あきらめ	42	37
3	<b>JAMPや国から川下企業への指導を行ってほしい</b>	35	↑58
4	教育やホームページなどで理解度の向上や周知徹底が必要	31	↓19
5	ツールに禁止事項を記載するなどしてはどうか	15	16
6	<b>共通項目として様式を変更してはどうか</b>	14	↑39
7	<b>国際統一、書式統一を望む</b>	—	↑26
外	全成分、全物質表現ができれば個別の物質要求が減るはず	9	10
外	情報開示用のシステムから依頼者がダウンロードするような仕組みが効果的	8	11
外	依頼データの活用を徹底する	5	
外	今回のルール化に歓迎。依頼者に提示していく	4	
外	独自要求の場合はコスト負担を要求すれば良い	3	↑9

【自由意見欄】  
独自項目要求に対する意見、  
無くすためのアイデアなどがあれば  
お聞かせください

昨年度と同様に、ルールの厳密化やJAMPや国からの指導を求める声は多い。  
加えて、今年度は、ツールや物質リスト等、書式の改善や、様式の国際統一、業界統一を求める声が増えている。  
少数だが、独自項目要求にはコスト負担と言う意見が増えている。

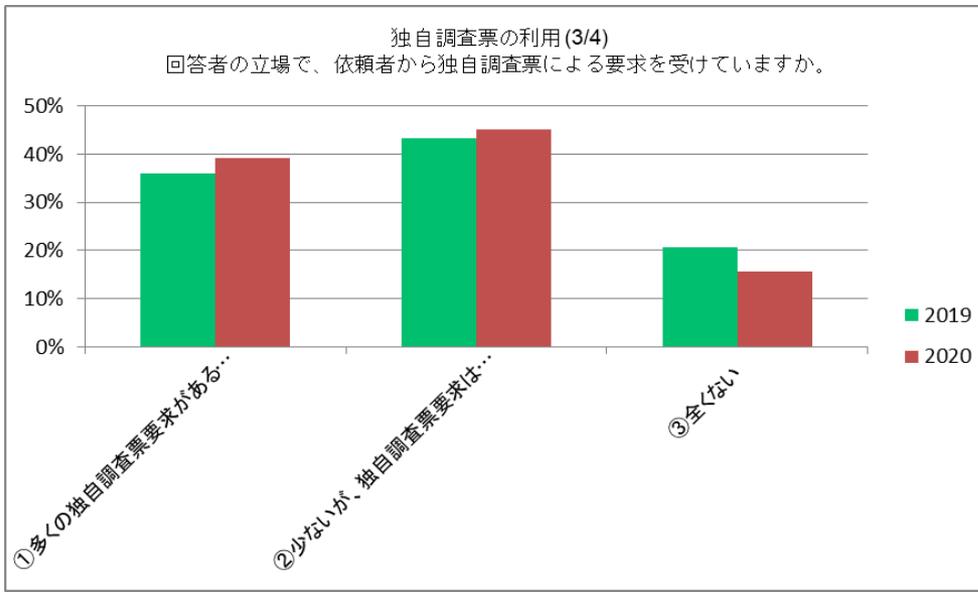
# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 2) 独自調査票の要求について



【依頼者にお伺いします】  
独自調査票の利用を行っていますか  
その様式はどんなものですか

chemSHERPAに加えて、独自調査票や不使用証明の利用割合は多い。  
(最も多いのは不使用証明書)



【回答者にお伺いします】  
独自調査票の要求を受けていますか

独自調査票の割合は多く80%  
全くない、は、20%以下

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 2) 独自調査票の要求について

【依頼者にお伺います】 独自調査票の利用、その必要性和、今後廃止予定があるかをお教えてください

主な意見集約 (回答数 867)		2019	2020	2019 サマリ	2020 サマリ	
1	廃止予定あり	無条件廃止	2	5	61	75
		川下からの要求が無ければ	45	38		
		徐々に廃止	10	32		
		他のツールへ置換	4	0		
2	廃止予定無し	個社の事由による	87	53	810	841
		川上からの事由により	101	111		
		<b>川下からの事由により</b>	<b>342</b>	<b>336</b>		
		海外メーカー等で対応が難しい	20	23		
		Eビデンスとして必要だから	49	81		
		<b>chemSHERPAでは顧客要求を満足できない</b>	<b>83</b>	<b>127</b>		
		その他	128	110		
3	現時点では廃止不明	商社の為管理外 (商流に乗せるだけ)	24	2	76	21
		その他	52	19		

独自調査票の廃止予定は無い、が圧倒的。川下からの要求があるため、が一番多い。

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 2) 独自調査票の要求について

【自由意見欄】 独自調査票に対する意見、無くすためのアイデアなどがあればお聞かせください

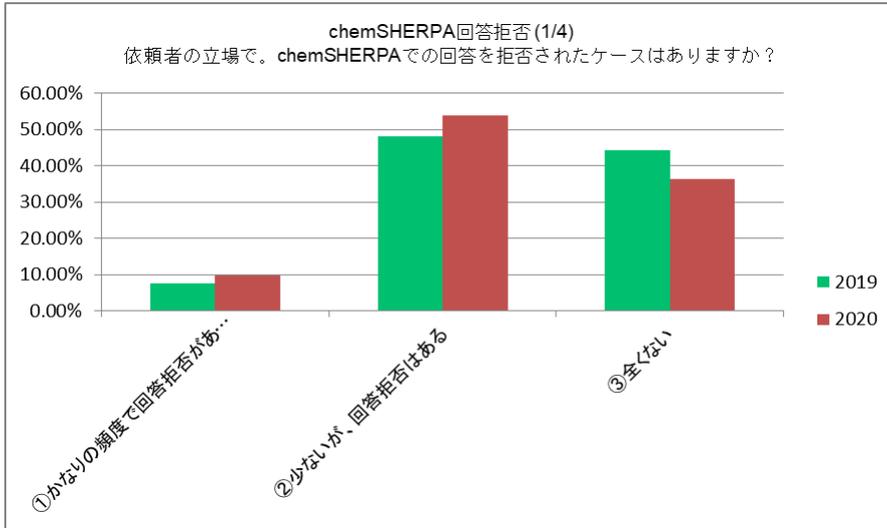
	主な意見集約 (回答数 674)	2019	2020
1	chemSHERPAの統一・浸透・普及（国内外）が進むこと	164	145
2	独自調査票はなくなる（必要）または、あっても良い	113	96
3	特にアイデアは無い	87	61
4	chemSHERPAのツールの強化を望む（物質追加、不使用証明出力など）	82	100
5	大手川下企業（JAMP会員を含む）の指導が必要	63	35
6	法規制や国の指導、ルール厳密化、通報、罰則化を実施	51	34
6	負担がかかるため止めて欲しい、または提出しないよう抵抗している	51	-
7	chemSHERPAが複雑、難しいためやむを得ず独自調査票を発行	18	21
外	IMDSのような共通データベースへの登録を行うことで排除できる	7	10
外	全物質表記を可能とすれば独自の物質要求が減る	3	-
外	独自調査票に対しては有償化をルールとする	2	-

海外含めたchemSHERPAの普及度が上がることが独自調査票を無くすことにつながるとの回答が多い一方、独自調査票は必要と答える割合も多い。不使用証明に関しては、chemSHERPAから出力できれば良いとのアイデアもある。大手川下企業への個別指導を求める声も多い。

2020年度では、ツールの強化を望む声はやや増加。不使用証明書の出力機能が欲しい、とか、ツールのリリースが遅いので、SVHC調査が先に来ってしまう、など。

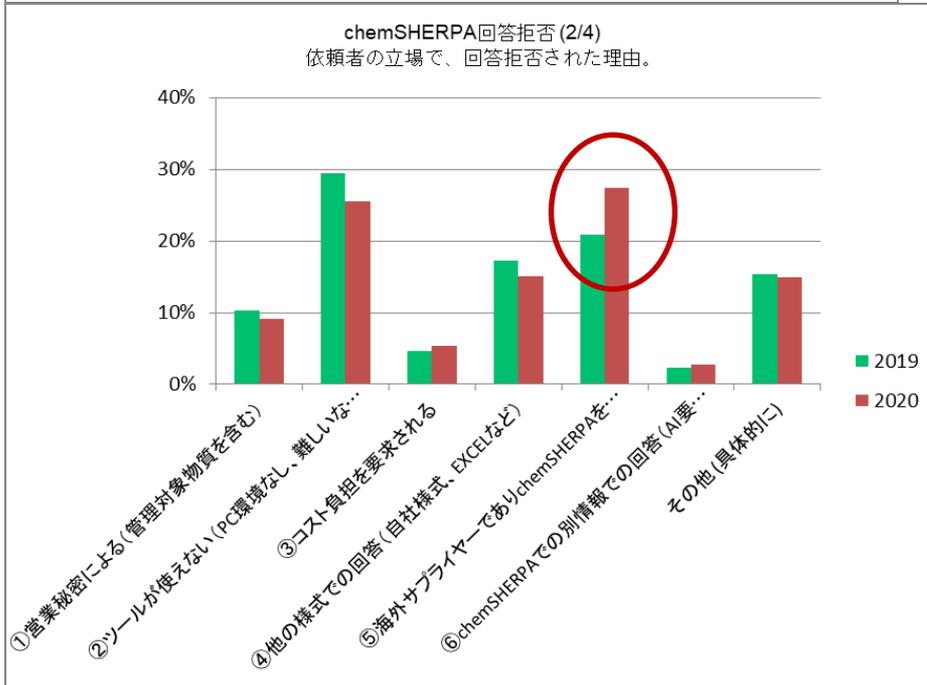
# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 3) 回答者からの回答拒否について



【依頼者にお伺いします】  
回答者からchemSHERPAの回答拒否された経験はありますか

半数程度で回答拒否された経験がある



【依頼者にお伺いします】  
chemSHERPA回答拒否の理由は何ですか

ツールが使えない、海外サプライヤーから入手できない、の理由が多い

2020年度では、海外サプライヤーから入手できない声がやや増加。

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 3) 回答者からの回答拒否について

【依頼者にお伺いします】 拒否された理由（その他）を具体的にお伺いします。

	主な意見集約（回答数 217）	2019	2020
1	複数該当) 海外サプライヤーでありchemSHERPAを扱わない	67	74
2	複数該当) ツールが使えない（PC環境なし、難しいなど）	65	72
3	複数該当) 他の様式での回答（自社様式、EXCELなど）	52	49
4	複数該当) 複数該当) コスト負担を要求される	42	43
5	複数該当) 営業秘密による（管理対象物質を含む）	40	43
6	複数該当) chemSHERPAでの別情報での回答（AI要求に対してCI、成分要求に対して遵法など）	38	37
外	企業ポリシーによる	13	3
外	保証できないため回答不可	11	—
外	購入量が少ないため回答不可	6	6
外	川上から回答が得られないため	3	1

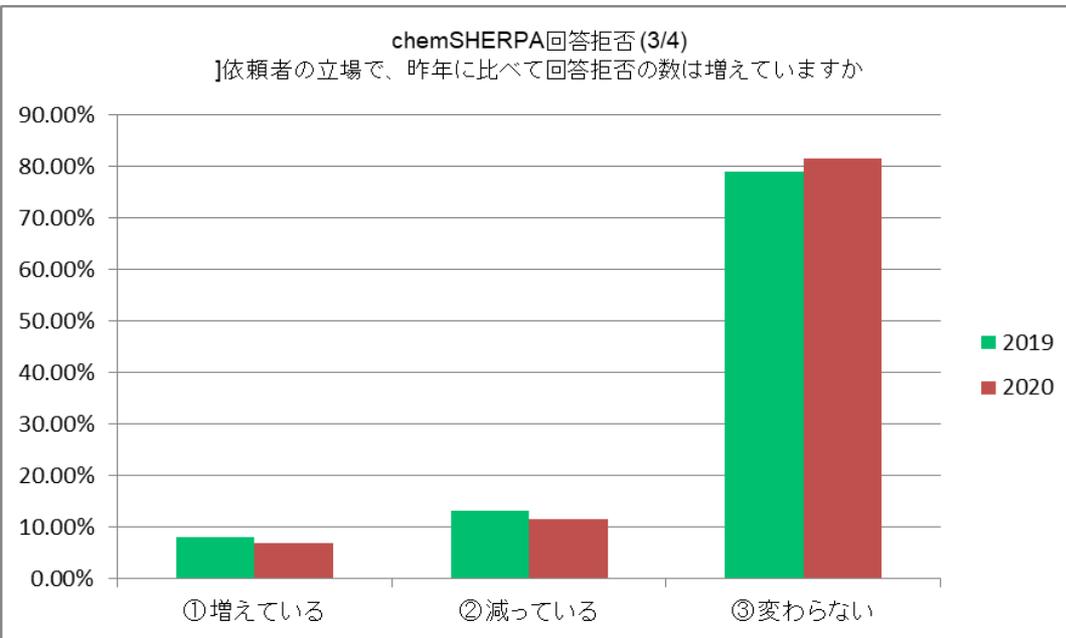
その他の回答については、複数項目への回答が多数。順位としては、先の選択の通り、海外サプライヤーからの拒否と、ツールが使えない（中小企業など）が多い。

海外サプライヤーへの調査方法や普及拡大の検討、中小企業への教育、普及活動が必要。

2020年度も上位2つに集約。海外サプライヤー対策要検討。

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 3) 回答者からの回答拒否について



### 【依頼者】回答拒否の増減

回答拒否の状況は変わらない状況。  
若干減っているのは、chemSHERPAの普及が  
影響していると考えられる。

**2020年度で変わらない傾向が続く。**

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 3) 回答者からの回答拒否について

【自由意見欄】 回答拒否に対する意見、無くすためのアイデアなどがあればお聞かせください

	主な意見集約 (回答数 573)	2019	2020
1	普及・啓発を促進させ、特に海外に対して普及すれば回答拒否は減る	115	125
2	ツールやマニュアルの使いやすさ改善、EXCELなど簡易入力手段の提供	89	121
3	教育やセミナーなど、chemSHERPAの無料セミナーの開催	46	34
4	開示を法律で義務付ける	31	37
5	CBIの保護は当然。なくならない。	22	16
6	調査コストへの認識向上	11	10
外	chemSHERPAをグローバル共通のフォーマットにする	9	31
外	素材メーカーのWebデータベースへの公開。システム連携の推進	7	10
外	他業界様式、独自様式の更なるchemSHERPAへの一本化	6	12

海外普及へのニーズが大きい。また、ツールの使いやすさやEXCELでの簡易調査など、ツールの難しさの限界を指摘する声も多い。

また、無料セミナーの要望も多く、JAMP非会員の中小企業への教育について議論が必要。

2020年度でツールの使いやすさや簡易フォーマットを求める声が増加。グローバル共通化への期待も増えている。

# 2020年度chemSHERPA普及度調査結果まとめ

## 自由意見

【自由意見欄】 chemSHERPAの普及に関する要望、情報伝達の問題などご意見をお願いします。

	主な意見集約 (回答数 642)	2019	2020
1	入力支援ツールの要望 (CI→AI変換ツール、EXCEL簡易入出力など)	198	99
2	知識が低い、教育を充実してほしい (無料セミナー、マニュアル充実など)	68	59
3	工数負荷やコスト負担に関する苦情	51	77
4	chemSHERPAの認知度向上 (中小企業への周知、国の支援など)	49	42
5	物質リスト (年2回の更新は負荷、対象法規制を拡大してほしい、など)	40	10
6	独自調査票、分析データ、重複する不使用証明書など、負荷になっている	39	39
7	海外メーカーからのchemSHERPAが入手できない。国際普及が重要	30	22
8	回答拒否に困っている (特に海外メーカー、中小企業)	23	9
9	自動車業界との互換を望む (IMDS、JAMAシート、全成分)	21	23
10	独自要求の禁止は川下企業に強く依頼したい	17	14
11	chemSHERPAへ一本化、標準化		18
12	SCIPについての要望		17
13	SVHC公開からツールリリースまでの期間短縮		16

- ・自由意見では、ツールへの要望が多い。特に、EXCELなどの簡易フォーマットへのニーズ大。
- ・相変わらず、教育のニーズは高く、しかも近年のJAMP会員重視に異論を唱える中小企業も存在。
- ・2020年度では工数負担への苦情がやや増えて、SCIP対応や、ツールリリース短縮化などの意見も出ている。